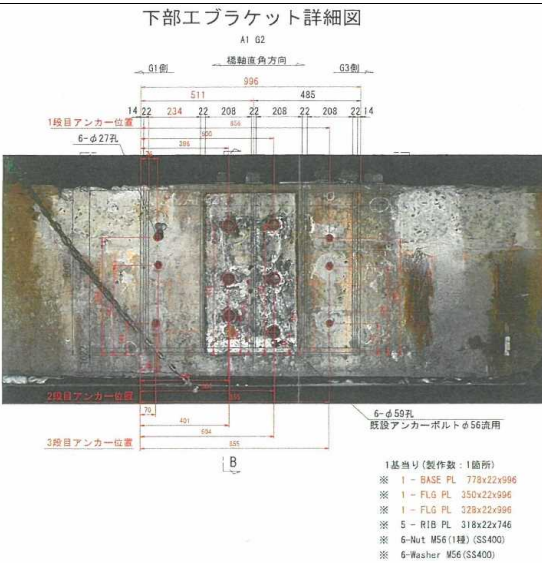


1	表題 (課題) 名	デジタル写真画像による3次元データを用いたアンカーボルト設置の検討	
2	工事 (業務) 名	R2水原維持管内耐震補強その3工事	
3	受注者名	秋葉建設興業 株式会社	
4	工 期	令和 3年 3月 31日 ~ 令和 4年 8月 31日	
5	担当技術者 (立場) 名	監理技術者	(いずみさわ とおる) 和泉澤 享
6	担当主任監督 (調査) 員	水原維持出張所長	
7	課題区分名	⑤施工管理	
8	工事 (業務) 概要	国道49号 取上橋の支承装置 (18基) を取替え	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	下部エブラケットのアンカー設置について、下部エブラケットが工場製作のため納品までにかなりの時間を要することと、ブラケットに設けられるアンカー挿入孔に余裕が殆ど見られないことから、納品を待ってからアンカーボルト定着を行うと工程に遅れが生じる等の問題点があった。		
10	【実 施 内 容】		
	デジタル写真画像から3次元モデルデータを作成し、そこに設計データを重ねることで、アンカー削孔の位置決めを行い、また、上記データよりトレースしたアンカーボルト固定用の定規を作成し、アンカーボルトの定着を行う。		
	下部エブラケット詳細図  1基当り (製作数: 1箇所) ※ 1 - BASE PL 778x22x996 ※ 1 - FLG PL 350x22x996 ※ 1 - FLG PL 328x22x996 ※ 5 - RIB PL 318x22x746 ※ 6-Nut M56 (1種) (SS400) ※ 6-Washer M56 (SS400)		
11	【実 施 結 果】		
	3次元モデルデータを基にアンカー削孔及びアンカーボルト定着を行った結果、後日納品された下部エブラケットのアンカー挿入孔との不一致もまったく無く、予定通りに工事を進捗することが出来た。		

【実 施 内 容 等】

トレース紙による定規のアンカーボルト位置確認



定規を用いたアンカーボルト定着状況



下部エブラケット設置完了

